

# 第3学年社会科（公民的分野）学習指導案

指導者 一関市立一関中学校  
教諭 佐藤 真

## 1 単元名 第3章 わたしたちの暮らしと民主政治 2 司法権の独立と裁判

### 2 単元について

#### (1) 教材について

本単元は、学習指導要領公民的分野に示された(3)わたしたちと政治のイ「民主政治と政治参加」の内容を扱う。その中で、「国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法にもとづく公正な裁判の保障があることについて理解させる」とあり、法にもとづく公正な裁判によって国民の権利が守られ、社会の秩序が維持されていること、そのため、司法権の独立と法による裁判が憲法で保障されていることについて理解させることを意味している。その際、抽象的な理解にならないように、裁判官、検察官、弁護士などの具体的な働きを通して理解させるなどの工夫が大切である。また、国民の司法参加の意義についても考えさせ、司法に対する国民の理解が深まり、その信頼が高まることを期待して裁判員制度が導入されたことに気付かせることも大切である。

日本は三権分立のしくみで政治を行っている。国会は、国政のもとになる法律をつくり、行政のもとである予算の決定権を持つ。また内閣は、法律に基づいて行政を司るとともに、外交関係や防衛の仕事にも携わる。さらに裁判所は、政治による不利益や一般の利権侵害を回復し社会の安定を司っている。この3つの機関は相互に抑制し合い、均衡を保っている。すなわち国会は内閣に対し総理大臣の指名と内閣不信任を出すことができ、裁判所へは罪を犯した裁判官の弾劾裁判所を設置できる。内閣は衆議院の解散を決定でき、最高裁判所長官を指名及びその他の裁判官の任命ができる。裁判所は法令に対し違憲審査権をもち、行政裁判の終審判決を下す。これら三権に対して、国民は国会議員を選挙で選び、世論調査の形で内閣に意見を伝え、最高裁判所長官の国民審査を行うことで、主権者として三権分立に関わっている。

民主政治が権力分立により国民の自由や権利を守るとともに、国民の意思の反映を図る仕組みをもっていることと、また国民の積極的な政治参加により民主政治を推進することが大切であることを理解させ、人間を尊重し自由と権利を保障する民主政治を守り発展させようとする意欲と態度を養うべき単元である。

#### (2) 生徒について

生徒は前単元までに、議会制民主主義のしくみと国会、内閣のはたらきについて学習している。意識調査や形成的評価では、社会的事象に対して興味や関心をもち、学習問題に対して意欲的に取り組んでいる生徒が多い。また、資料から事実をとらえる力も概ね定着している。その一方、「知識・理解」を問う問題に関して、正答率に大きな個人差がある。そのため、理由や要因・結果を答える記述式の問題に対し、無回答や苦手になっている生徒が少なくない。また、グループ学習において、意見交流ができる生徒が多いが、深まった議論になっていないところがある。

そこで、資料を読み取る活動とおし、言語活動の更なる充実を図っていく必要がある。

#### (3) 指導について

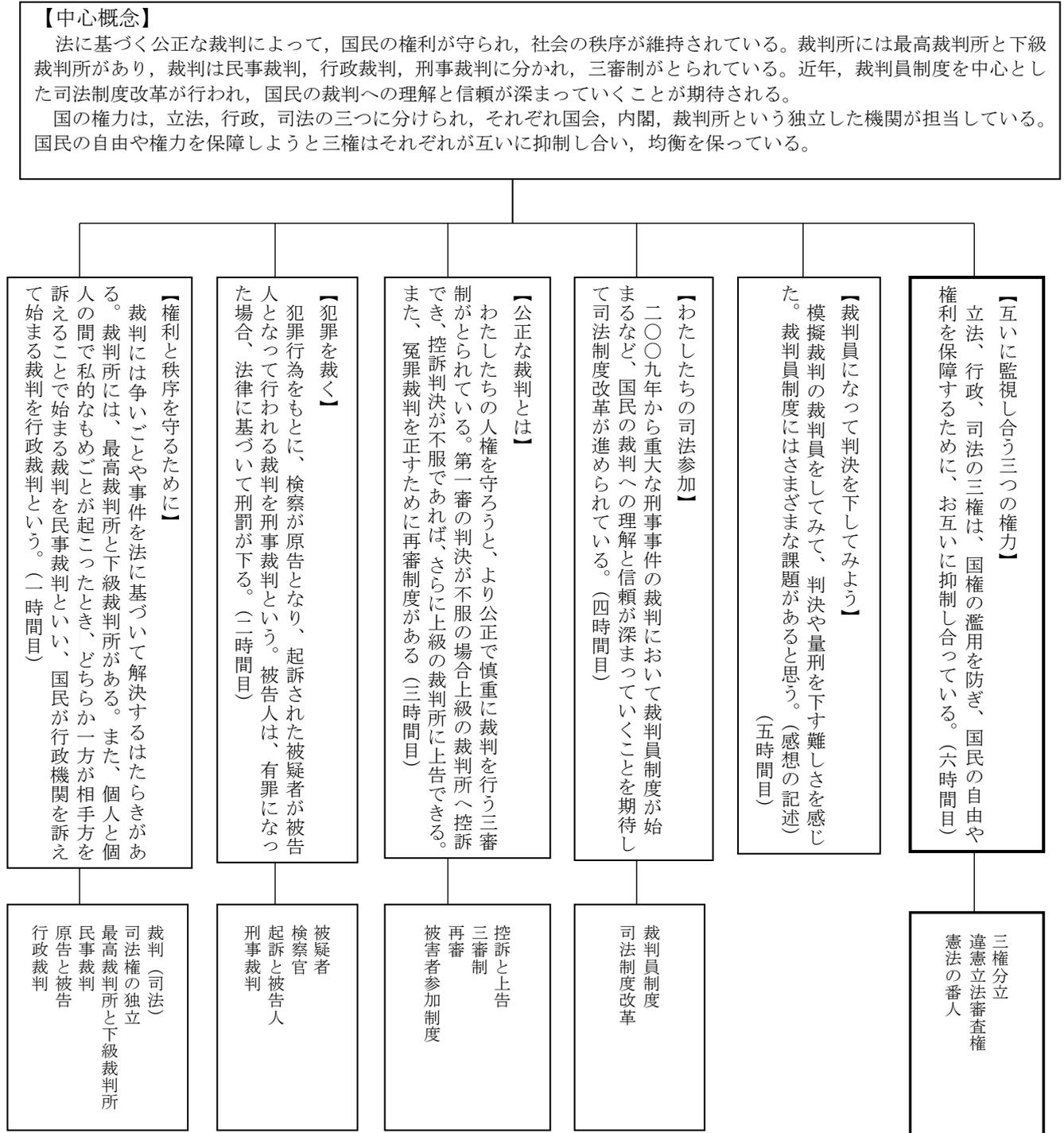
日本の議会制民主主義政治の特徴をとらえさせるために、知識の習得だけに終わらず、次の3点に留意して指導する。

一つ目として、単元全体を通して、新聞記事を活用するなど、身近な事例や自分たちの生活と関係ある事例を例に挙げながら、今の政治や社会のようすに関心や疑問を持たせ、問題設定につなげる。

二つ目として、主体的に学習問題を解決するために、何を調べればよいかを意識させる。また、文章資料と表や図などの資料を関連させるなどしながら、政治は国民の暮らしや権利を守るためのしくみであることに生徒が気付くような授業展開を心がける。

三つ目として、小グループやペアでの活動などを通し、自分の考えを根拠を示しながら発表や説明ができるよう論理的に書かせる指導を行う。また、学習のまとめを書いて終わるのではなく、生徒自身が社会との関わりを考える設問をつくり、社会参画の意識を高めさせる。

### 3 単元の知識の構造図



#### 4 単元の目標

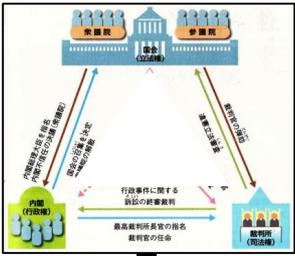
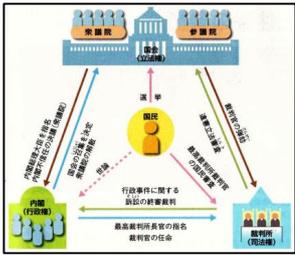
- (1) 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて関心をもって考えている。 **【社会的事象への関心・意欲・態度】**
- (2) 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現できる。 **【社会的な思考・判断・表現】**
- (3) 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて、新聞やグラフ、図などの資料を適切に読み取ったり、図表化したりできる。 **【資料活用 の技能】**
- (4) 国民の権利を守り、社会の秩序を維持するために、法に基づく公正な裁判の保障があることについて理解することができる。 **【社会的事象についての知識・理解】**

#### 5 単元の指導計画

時	目 標	学習活動	評価規準と評価方法
1	裁判のはたらきと裁判所の種類について理解するとともに、民事裁判のしくみと行政裁判について、具体例をもとに理解する。	司法の目的を明らかにするとともに、資料から裁判所の種類の相違点や民事裁判のしくみ及び、行政裁判との相違点を読み取る。	裁判のはたらきと裁判の種類、民事裁判と行政裁判の特徴について、正しく理解している。【知識・理解】（ワークシート）
2	刑事裁判のしくみや特徴を、民事裁判の学習との比較を通して、具体的に理解する。 刑罰の種類と意味について理解し、死刑や冤罪について考える。	資料から民事裁判と刑事裁判の大きな相違点を読み取る。 冤罪事案から死刑制度の是非について考える。	民事裁判との比較を通して、刑事裁判の特徴をまとめ、説明することができる。【思考・判断・表現】（ワークシート） 死刑制度と冤罪の問題について真剣に考えようとしている。【関心・意欲・態度】（ワークシート）
3	三審制や再審制度など、人権を守るためのしくみについて理解し、慎重な裁判を確保することに意義について考え、理解する。	「なぜ、同じ事件で三度の裁判を求めることができるのか」について資料から三審制のしくみを読み取らせるとともに、その意義を考える。	三審制の意義や、被疑者・被告人の権利を守るためのさまざまな制度について、正しく理解している。【知識・理解】（ワークシート）
4	司法制度の現状やこれからの課題について、さまざまな資料をもとに整理し、明らかにする。 裁判員制度の長所と短所について考える。	資料をもとに、司法制度の課題点を明らかにし、司法制度改革の方向性を整理する。 裁判員制度のしくみや導入された意義を理解し、長所と短所をまとめる。	司法制度の現状やこれからの課題について、さまざまな資料をもとに情報を整理し読み取っている。【資料活用】（ワークシート） 裁判員制度の果たす役割についてまとめ、説明できる。【思考・判断・表現】（ワークシート）
5	模擬裁判の台本を用意して上演し、裁判の意義とそれに関わる人々の役割について理解を深め、関心を高める。	模擬裁判を行い、裁判の意義とそれに関わる人々の役割を考える。	裁判に対する興味や関心をもって模擬裁判をしようとしている。【関心・意欲・態度】（発言・観察）
6 (本時)	三権の相互の抑制について考え、三権分立が権力の濫用を防ぎ、国民の自由を保障しようとしていることに気付く。	三権分立の相関関係を図式化し、三権分立の理由について考える。	三権分立の理由について、相関図をもとにしながら考察し、自分の考えを記入している。【思考・判断・表現】（ワークシート）

6 資料活用構想図

3年「第3章 わたしたちの暮らしと民主政治 2 司法権の独立と裁判」

段階 時	さがす・見つける	比較・関連・総合する 表現・説明する
1	①最高裁判所大法廷【写真】 ②最高裁判所にあるテーミス像【写真】 ・最高裁判所内にテーミス像が設置されている理由をつかむ ③裁判官の服装とバッジ【写真】	③裁判所の種類【表】 ④民事裁判のしくみ【図】 ・民事裁判の流れの特徴をつかむ。 ⑤行政裁判の判例【表】 ・近年の行政裁判の判例から国民がうったえた内容をつかみ、民事裁判と相違点を確認する。
2	①刑事裁判の判例クイズ【スライド】 ・刑罰の種類を確認する。	②刑事裁判のしくみ【図】 ③刑事裁判の様子【絵】 ・刑事裁判の流れをつかむとともに、民事裁判と比較し特徴をとらえる。 ④検察官と弁護士のバッジ【写真】
3	①足利事件の冤罪記事【新聞】 ②菅家さん【写真】 ・冤罪がなぜおこったか考える。	③三審制のしくみ【表】 ・三審制の流れをつかむとともに、その理由をつかむ。 ④死刑制度の状況【表】 ⑤少年法のしくみ【表】 ・被告人や被害者の人権について考える。
4	①日本とアメリカの法曹人数【表】 ・日本の司法制度の問題点をつかむ。	②裁判員制度のしくみ【表】 ③裁判員経験者の感想と不安【表】 ・裁判員制度の長所と短所を考える。 ④裁判員制度の解説【映像】
5	①裁判員制度模擬裁判【シナリオ】 ・模擬裁判を行う中で、裁判員になって判決を下す。	
6 (本時)	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>①三権分立のしくみ(図)</p>  <p>三権が分立し、互いに監視し合っていることをつかむ。</p> </div> <div style="width: 45%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                         ②衆議院解散 (新聞記事)                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                         ③内閣総理大臣 指名(新聞記事)                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                         ④最高裁判所長官 指名(新聞記事)                     </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                         ⑤行政訴訟判決 (新聞記事)                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                         ⑥違憲審査権 判決(新聞記事)                     </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;">                         ⑦弾劾裁判所 設置(新聞記事)                     </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">                         相関図と新聞記事を関連付けることで、三権の相関関係の理解を深める。                     </p>  <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">                         相関図から三権が監視し合っている理由について考える。                     </p> </div> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <span style="font-size: 2em;">+</span> 関連  <span style="font-size: 2em;">→</span> 発展                 </p>	

## 7 本時の指導

### (1) 目標

- ・三権の相互の抑制について考え、三権分立のしくみが権力の濫用を防ぎ、国民の自由や権利を保障しようとしていることに気付く。

### (2) 評価規準

観 点	評 価 規 準
社会的な思考・判断・表現	三権分立の理由について、関連図をもとにしながら考察し、ワークシートに自分の考えを記入している。

### (3) 本時の展開…次ページ

## 8 板書計画

／ お互いに監視し合う三つの権力

三権分立のしくみ

学習問題

なぜ、立法・行政・司法の三権は互いに監視し合っているのか。

まとめ

立法・行政・司法の三権は、権力の行きすぎを防ぎ、国民の自由と権利を保障するため、監視し合っている。

☆もし A だけの権力が強くなりすぎたら B。その結果 C。

グループ 意見	グループ 意見	グループ 意見	グループ 意見	グループ 意見
グループ 意見	グループ 意見	グループ 意見	グループ 意見	グループ 意見

(3) 本時の展開

社会的な見方や考え方を身に付けさせる資料活用

(○資料提示の工夫 □複数の資料を比較・関連・総合させる工夫 ◇資料をもとに考えを表現させる工夫)

段階	学習内容と学習活動 (・指導上の留意点)	社会的な見方や考え方を身に付けさせる資料活用
問題の把握 (10分)	<p>1 用語・語句の確認と把握</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会、内閣、裁判所の関係について、相関図を完成させる。</li> <li>・「違憲立法審査権」について把握する。</li> </ul> <p>2 学習問題の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国会、内閣、裁判所がそれぞれに関わり合っていることに気付かせ、学習問題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>なぜ、立法・行政・司法の三権は互いに監視し合っているのか。</p> </div>	<p>①三権分立のしくみ (図)</p> <p>○ICTを活用しながら一部(国民)を空欄にして提示する。</p>
問題の追究 (32分)	<p>3 予想の発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■一つの機関だけが強くなるようにするため。</li> <li>■バランスのよい政治をするため。</li> </ul> <p>4 学習問題の追究</p> <p>(1) 資料をもとに、三権の相関関係について理解を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「憲法の番人」について把握する。</li> </ul> <p>(2) 三権のバランスが崩れたとき、どんな問題が起こりうるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相関図を参考にしながら、次の文を完成させる。 「もし <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">A</span> だけの権力が強くなりすぎたら <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">B</span>。その結果 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">C</span>。」</li> <li>・考える権力を小グループごとに指定する。</li> <li>・小グループで意見交流を行った後、発表させる。</li> <li>・三権分立の関係の中に「国民」の存在を意識させるとともに、主体者である国民も三権を監視していることをつかませる。</li> </ul>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>②衆議院解散(新聞記事)</p> <p>③内閣総理大臣指名(新聞記事)</p> <p>④最高裁判所長官指名(新聞記事)</p> <p>⑤行政訴訟判決(新聞記事)</p> <p>⑥違憲立法審査権(新聞記事)</p> <p>⑦弾劾裁判所設置(新聞記事)</p> <p>□相関図のどの関係を示している資料かを考える。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>①三権分立のしくみ(図)</p> <p>◇相関図をもとに、因果関係や根拠を明らかにしながら発表する。</p> </div>
まとめ (8分)	<p>5 学習問題のまとめ</p> <p>(1) 学習問題のまとめをワークシートに記入する。</p> <p><b>【記入例】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>立法・行政・司法の三権は、権力の行きすぎを防ぎ、国民の自由と権利を保障するため、監視し合っている。</p> </div> <p>(2) 発展的な問題をワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今の日本は、三権が対等に分立しているかを考えさせ、生徒自身がこれからの政治にどのように関わっていくかを記入させる。</li> </ul> <p><b>【記入例】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>平和な日本で、私たちの権利を守っていくためにも、選挙の時は必ず投票に行きます。</p> </div>	<p><b>【評価】</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>三権分立の理由について、相関図をもとにしながら考察し、自分の考えをワークシートに記入しているか。 (思考・判断・表現)</p> </div>